

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	数値	現状の単位	目標値	実績の年次値	本年度	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
293636 田原本町	③学校と家庭の課題	家庭等における学習習慣の定着	家族形態が多様化しているため、授業以外で大人が子供たちの自主学習に寄り添うことができず、「勉強の仕方が分からない」「一人では勉強できない」という児童生徒が増加している。	学習習慣の定着が難しかったため、運営委員会において、学習習慣の定着についての議論をし、学習支援者にも共有した上で、様々な学習支援活動を実施する。	・民間事業者による田原本学習支援教室を年間20日実施する。 ・退職教職員や大学生による宿題等の学習支援を行う「あおがき教室」を年間19日実施する。 ・大学生がサポートとして参加する北中学校放課後学習教室を定期的に実施する。	地域や民間事業者の方が児童生徒に寄り添う学習支援教室を実施することで、児童生徒の学習意欲を増加させ、学習習慣の定着につなげていく。	週に5日以上、学校以外で勉強する児童生徒の割合(田原本町学習支援教室参加者アンケート調査)	28	%	35	27	2	学習習慣の定着が難しい児童生徒が非常に多く、今後も課題であると認識している。運営委員会において、学習習慣の定着についての議論を深め、学習支援者にも共有した上で、子ども達が興味・関心を引くような様々な学習支援活動を実施する。	<a href="https://www.town.tawaramoto.nara.jp/soshki/kyoukuinkai/bunkashinko/syogai/17473.html">https://www.town.tawaramoto.nara.jp/soshki/kyoukuinkai/bunkashinko/syogai/17473.html</a>

○令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

令和7年度の仮申請や本申請の際に設定したものをそのまま記載してください。

※課題の類型1から本年度の目標値までの欄

・本年度の実績値

「目標の達成度を測る指標」について、本年度の実績値を記載してください。

・アウトカムの達成度に関する評価

当該年度におけるアウトカムの達成度(課題の解決・改善の進捗度)を5段階で自己評価してください。

【選択肢】

- 05 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した
- 04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた
- 03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた
- 02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる
- 01 本年度の目標値を大きく下回り、取組の根本的な見直し求められる

・事業における成果、課題、改善点等

「アウトカムの達成度に関する評価」に対する分析を行い、その結果を具体的に記載してください。

目標値を達成し、課題の解決・改善が見られた場合は、本事業における成果を具体的に記載するとともに、目標達成のために行った工夫や次年度に向けた改善点などを記載してください。

目標値の達成に至らなかった場合は、その要因を具体的に記載するとともに、事業実施上で課題となっていることや次年度に向けた改善点などを記載してください。

・目標の公表先

令和7年度の目標や実績などについて公表しているホームページのURL等を入力してください。

公表に当たっては本事業の目標等を単独で掲載する必要はありません。例えば、本事業で「学校における働き方改革」に資する取組を実施する場合は、各教育委員会の「学校における働き方改革」の取組状況の一環として公表することが効果的であると考えられます。